

スーパーエンバイロメントハイスクール研究開発事業

1. 事業の概要

廃棄物のリサイクル技術の研究・開発など環境教育を重点的に行う学校をスーパーエンバイロメントハイスクールに指定し、カリキュラムの開発、大学や研究機関との効果的な連携方策等について研究を推進し、課題に気づき、その解決に積極的に取り組むことのできる人材の育成を図るとともに、環境教育に関する教材を開発しています。

2. 研究開発実施校

○岡山工業高等学校（平成22～24年度）

校内や地域から出るコンクリートなどの廃棄物をリサイクルして、再生コンクリートを製造する研究に取り組んでいます。

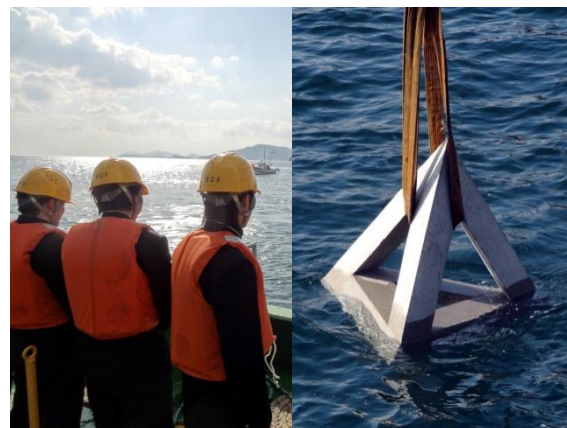
平成24年度は、製造した再生コンクリートを使ったベンチやテーブルなどの製品を、地域の小学校や幼稚園へ寄贈するなど、啓発活動に取り組みました。



○笠岡工業高等学校（平成22～24年度）

岡山県の特産品であるカキの殻を原料として、魚礁ブロックやアマモ養殖板を製造する研究に取り組んでいます。

平成24年度は、大学と連携して製造した魚礁ブロックを、地域の漁業協同組合と連携して笠岡沖に設置しました。さらに、海の現状の調査、アマモ養殖板の実用試験などに取り組んでいます。



○高梁城南高等学校（平成24～26年度）

ヒラタケ等の菌床栽培によって発生する廃オガクズを、ペレットストーブの燃料や、日本の伝統建材である三和土（たたき）や漆喰（しっくい）の材料として再利用する研究に取り組んでいます。

平成25年度は、廃棄オガクズ乾燥機の製作や三和土（たたき）ブリックの量産化、生徒・市民の交流温室における床面整備等に取り組みました。



担当部署

教育庁 高校教育課 職業指導班